

こどもとしょかんだより

3・4年生 加須市立図書館 (令和7年) 2025年7月 (だい38ごう)



夏をたのしもう！



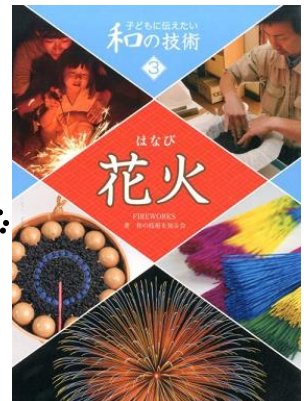
『海の生きものつかまえたらどうする？』

すぎもと 杉本 幹／文 まつばし 松橋 利光／写真
こば 木場 葉子／絵 かいせい 偕成社



カニ、エビ、ヤドカリなど、海の生きもののかわかたがのっています。

夏の夜空にうちあがる、きれいな花火はどうやってつくられるのでしょうか？



『子どもに伝えたい和の技術3 花火』
和の技術を知る会／著 ぶんけいどう 文溪堂

『かこさとし こどもの行事しぜんと生活 7月のまき』

かこさとし／文・絵 みねしよてん 小峰書店



たなばたや虫とりなど、7月の行事やあそびについてしょうかいしています。

『妖怪一家の夏まつり』

とみやす 富安 陽子／作 山村 浩二／絵 りろん 理論社

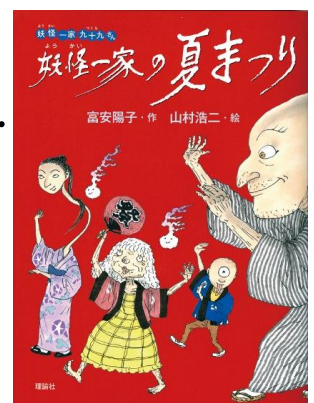


みんなだいすき、あのアイスのひみつがわかります。

『ガリガリ君ができるまで』

さだ 岩貞 るみこ／文 黒須 高嶺／絵
こうだん 講談社

妖怪一家のやまんばおばあちゃんが、夏まつりの実行委員になった？！





今年のかだい図書・すいせん図書

8月31日まで かだい図書・すいせん図書の
かりられる日数が **8日間** になります。

読書かんそう文のかだい図書と埼玉県さいたまけんのすいせん図書は、かりられる日数が
かわります。読みたい本がかしだし中の時はよやくすることができます。よや
くは図書館かんのホームページからできます。

か だ い 図 書	タイトル	かいたひと	出版社
	ふみきりペンギン	おくはら ゆめ／作・絵	あかね書房
	バラクラバ・ボーイ	ジェニー・ロブソン／作 もりうち すみこ／訳 黒須 高嶺／絵	文研出版
	たった2℃で…	キム・ファン／文 チョン・ジンギョン／絵	童心社
	ねえねえ、なに見てる？	ビクター・ベルモント／絵と文 金原 瑞人／訳	河出書房新社
す い せ ん 図 書	タイトル	かいたひと	出版社
	保護ねこものがたり	大塚 敦子／著	ポプラ社
	おいら、すてネコ『たまご』です	山口 理／作 こがしわ かおり／絵	文研出版
	昆虫レストランななほしへようこそ	藍沢 羽衣／作 ゆうこ／絵	文研出版
	神さまの通り道	村上 しいこ／作 柴田 ゆう／絵	偕成社
	犬にかまれたチイちゃん、動物の	今西 乃子／作 あたちたち／絵	岩崎書店
	おいしゃさんになる		
	参上！ヌンチャクゴリラ	川之上 英子・川之上 健／作 朝倉 世界一／絵	岩崎書店
	子ぎつねと音のなる石	くすのき しげのり／作 酒井 以／絵	あかね書房

「うちどく」を やってみませんか？

「家読（うちどく）」は、「家ぞくでおなじ本をよんで本のかんそうなどを話す
こと」です。おもしろいと思った本を家ぞくにしょうかいして、かんそうを
聞いたり、おうちの人のおすすめの本をいっしょに読んだりして、家ぞくで本
を楽しもう！



お

す

す

め

の

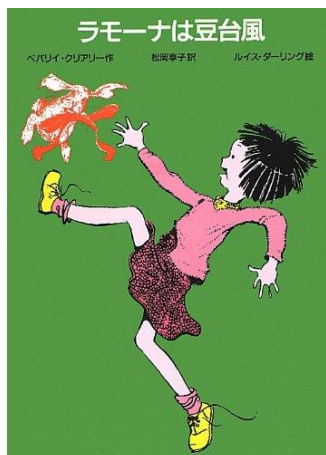
ほん

今回のテーマ

いたずら

『ラモーナは豆台風』

まめ

ベバリイ・クリアリー／作 まつおか きょうこ やく
ルイス・ダーリング／絵 Gakken

やんちゃな5才の女の子・ラモーナは、幼稚園^{ようちえん}に
 よいはじめます。ラモーナは、早くともだち^{なかよ}と仲良
 くなりたくておおはりきり。でも、ともだちのかみ
 の毛を引っぱったり、ミミズ^{みみず}を指にまいて見せびらか
 したり、いたずらばかりでまわりはあきれ顔です。

ある日、ラモーナは長ぐつがうれしくて、どろの
 中へ足をふみいれますが、大変^{へん}なことになります。

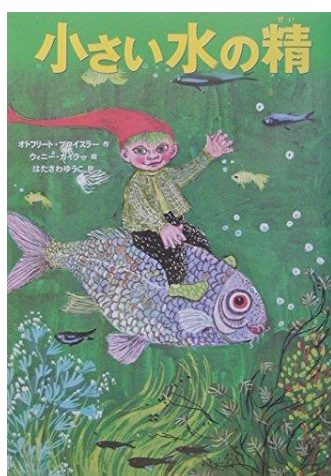
『小さい水の精』 オトフリート・プロイスラー／作 ウィニー・ガイラー／絵 はたさわ ゆうこ／訳 徳間書店

せい

え

やく

とくましょてん



池^{そこ}の底にすむ小さい水の精^{せい}は、元気でいたずらずき
 な男の子。あぶないから行かないように言われていた
 水草のしげみにもぐったり、人間の使う^{つか}ボートをかつ
 てにこぎだしたり、とやりたいほうだいです。

ある日、水の精^{せい}は、水車^や小屋のといをすべる遊び^{あそ}びに
 夢中^{むちゅう}になります。もっとはやくすべりたいと思った水
 の精^{せい}は、とんでもないことを思いつきます。

『いたずらおばあさん』

たかどの

ほうこ

方子／作

ちば

ちかこ

え

史子／絵

かん

フレーベル館



おしゃれ大すきおばあさん・エラババさんが発明^{はつ}
 たのは、着ると若返る服！弟子のヒョコルさんと、そ
 の服を着て8歳の女の子の姿^{すがた}になり、デパートへ。

二人は、乗り物^のに乗ったりデザートを食べたり、本
 当のこどものように楽しみます。しかし、二人の前に、
 ささいなことでいばるおじさんがあらわれます。彼^{かれ}
 をこらしめようと、二人がしかけたいたずらとは？

おはなしのたび ～アフリカがぶたいの物語～

『ドリトル先生アフリカへ行く』



ヒュー・ロフティング／著 ^{ちょ}金原 ^{かねはら} ^{みずひと}瑞人・^{ふじしま}藤嶋 ^{けいこ}桂子／共訳 ^{やく} ^{たけしよぼう}竹書房

たくさんの^{どうぶつ}動物と暮らすドリトル先生は、^{どうぶつ}動物と会話することができます。ある日、サルのチーチーのたのみで、^{びよう}病気に^{くる}苦しむアフリカのサルたちを^{すく}救うため、船でアフリカに行くことになりました。

アフリカに着くと、^つ何度も^ど危険な目にあいますが、^{どうぶつ}動物たちの^{たす}助けできりぬけ、サルの国へたどりつきます。ドリトル先生はさっそく^{ちりよう}治療を^{はじ}始めますが…。

読んでみよう！ ～ちしきの本～

『巨石運搬！』

^{かまた}鎌田 ^{あゆみ}歩／^{さく}作 ^{かん}アリス館



ここは瀬戸内海の島。昔、大阪城をつくるために、この島から大きな石が海を渡り運ばれました。

石工が岩山に^{いし}矢穴を^{あな}ほり、石切り歌を歌いながらのみをたたきます。ドーンと音を立てて巨大な石がたおれました。次に船着場へ運ばなくてはなりません。たくさんの人が、丸太を使って石を引きます。巨石を乗せた船は、大阪に向けいよいよ出発です。

《図書館の電話番号・住所》

^か加須図書館 ^{でんわ}電話：0480-61-8200 ^{じゅうしょ}住所：中央 2-4-17

^{きさい}騎西図書館 ^{でんわ}電話：0480-73-3178 ^{じゅうしょ}住所：根古屋 633-10

^{きたかわべ}北川辺図書館 ^{でんわ}電話：0280-62-4400 ^{じゅうしょ}住所：麦倉 1473-1

^{どうよう}童謡のふる里 ^{さと}おおとね図書館 ^と電話 0480-78-2211 ^{じゅうしょ}住所：琴寄 597-1

《図書館のホームページ》 <https://www.library.kazo.saitama.jp/>

図書館のウェブサイト
はこちら↓

